

地域でつなごう 子どもたちの未来へのバトン

～子どもたちを虐待から守るために～



それは「しつけ」ではなく「虐待」です！

たとえ、保護者が「しつけ」のためだと思ってやったこと(悪いことをしたのでたたく、ほかの子と比較してしめるなど)でも、子どもの身体や心を傷つけることは「虐待」にあたります。

「虐待」は、発達の遅れや情緒不安定など子どもに様々な影響を与え、問題行動を起こすきっかけになります。また、極度の自己嫌悪や自殺願望などに結びついたり、自分の子どもに対して「虐待」を行うなど、負の連鎖を招くこともあります。

「虐待」はいかなる理由があっても正当化されません。

地域の皆さまへ

「あの子、もしかすると虐待を受けてないかな…」 「たたかれています子どもがいた…」 「いつも近所で子どもの激しい鳴き声と大人の怒鳴り声が聞こえる…」

こんな時は、ぜひご連絡ください。連絡は匿名でもかまいません。連絡者や連絡内容に関する秘密は守ります。

保護者の皆さまへ

「育児が大変、疲れた…」
「イライラして子どもをたたいてしまいそう…」
子育ての悩みや子どもとの関わり方で困っていること等、一人で悩まずご相談ください。
今のこと、これからのことを一緒に考えていきましょう。



子どものみんなへ

「親に話を聞いてもらえない…」
「親からいつも怒られる…」
「親からたたかれる…」
「こまったことや不安なこと、辛いことがあったら、一人で悩まず相談してね。」



オレンジリボンは児童虐待防止のシンボルマークです

児童虐待かも…と思ったら、子育てに悩んだら…、周りに子育てに悩む人がいたら…

下記の連絡先にお電話ください。

国立市
子ども家庭支援センター

573-0192

8時30分から17時(日曜・祝日を除く)

児童相談所
全国共通ダイヤル

いち はやく
189

24時間・365日対応